

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|------|-------|
| 基準 1 | 理念・目的 |
|------|-------|

| | |
|----------------|---|
| 総評 | |
| 0101 | 大学の基本理念『『不言実行、あてになる人間』を信条とし、豊かな教養、自立心と公益心、国際的な視野、専門的能力と実行力を備えた、信頼される人間を育成する』を、4要素 (信頼されあてになる人間 ; 豊かな教養 ; 自立・公益 ; 国際的な視野 ; 専門能力・実行力) に分類し[0101a]、学部の「教育の目的」を次の4つに整理している。すなわち、「教育環境の改善と創造に挑戦するとともに、自ら役割を果たす能力」、「現代に生きる『乳幼児・児童生徒の人格形成』についての高い学識」、「複雑な現代社会における家庭や地域社会の子育て支援力や教育力の向上に対しても、専門家として果敢に対応できる知識や実践的能力」として、明確に目的を設定している。一方、教育目的のうち「国際的な視野」に関する目的、そして「研究上の目的」が明確には設定されていないので、検討が必要である[0101b]。 |
| 0102 | 大学の基本理念・使命・教育目的および学部の「教育研究上の目的」に関しては、ホームページや学生便覧で公表し[0102a][0102b]、学部教職員に対しては、毎回の教授会配付資料に学部の「教育の理念」を記載する方法で周知している[0102c]。 |
| 長所・特色 | |
| 0102 | 教育の理念を常に見返すために、毎回の教授会配付資料に学部の「教育の理念」を記載する方法で周知している点[0102c]は、理念の再認識の機会を与え、理念に基づいた議論ができるようになるなどの効果もあり、明確な特色となっている。 |
| 留意点 | |
| *各項目に留意点レベルを記入 | |
| | 【A】・・・緊急の改善を要する事項 |
| | 【B】・・・検討を要する事項 |
| 0101 | 教育目的のうち「国際的な視野」に関する目的、そして「研究上の目的」が明確には設定されていないので検討が必要である[0101b]。【B】 |

| 根拠資料 No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会（第2部会）

2022年度（対象：2019～2021年度）ピアレビュー報告書（案）

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|-----|-------|
| 基準2 | 内部質保証 |
|-----|-------|

| 総評 | |
|---------------|--|
| 0201 | 他学部と異なり、定期的に外部の調査が入るため日常的に全体にわたる点検、見直しが行われており、監督当局（2016年4月より厚生労働省から県に事務移管）に毎年、業務報告書が提出されている[0201a][0201b]。 なお、自己点検報告書では業務報告書の提出先を厚労省とし、根拠資料(0201a)も対象年度以前のものが示されていたが、いずれも古い情報であるため、ヒアリングを通じて県移管後の根拠資料の追加を要請し、提出を受けた[0201c][0201d][0201e]。 自己点検で提示された根拠資料は指定保育士養成施設に関するもののみであるが、文部科学省に関しては、「教職課程認定大学等実地視察」を受け、幼稚園教諭一種免許課程・小学校教諭一種免許課程等の授業内容や大学の設備等について実施された調査の資料が提出された[0201f]。このように、定期的・継続的に外部評価を受けている。 |
| 長所・特色 | |
| 0201 | 国や県の監督当局から定期的・継続的に外部評価を受けている[0201c][0201d][0201e]。 |
| 留意点 | |
| *各項に留意点レベルを記入 | 【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項 |
| 特になし | |

| 根拠資料No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|---------|----|--------------------------------|------|
| 項目No. | 記号 | | |
| 0201 | c | 令和元年度分指定保育士養成施設業務報告書.pdf | ○ |
| 0201 | d | 令和2年度分指定保育士養成施設業務報告書.pdf | ○ |
| 0201 | e | 令和3年度分指定保育士養成施設業務報告書.pdf | ○ |
| 0201 | f | 現代教育学部 追加資料1：実地視察大学等別報告書（中部大学） | ○ |

提出区分 … ○：本シートと一緒に提出する資料 △：現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|------|---------------|
| 基準 4 | 教育課程・学習成果 (1) |
|------|---------------|

| | |
|---------------|--|
| 総評 | |
| 0402 | CP について学科および専攻ごとに学生便覧に明示されている [0401a]。入学から卒業までのカリキュラムに含まれる科目の体系を系統図にて分かりやすく示しているが、この内容 (体系的な編成) は主に 0403 に該当するものと考えられる [0402a]。 |
| 0403 | 0402 にも記載したが、入学から卒業までのカリキュラムに含まれる科目の体系を CP に基づいて系統図にて分かりやすく示している [0401b]。 高大連携については高校の教育内容が高校によって多様なため有機的な連携に苦勞しているものの、学生の受け入れについて学部側で対応できることは限られているため評価は「B」が妥当ではないか。 教育実習・施設実習の関係で時間割の自由度が小さくなっており、実習の実施時期の見直しを続けている [0403b]。 |
| 長所・特色 | |
| 0403 | 入学から卒業までのカリキュラムに含まれる科目の体系を CP に基づいて系統図にて分かりやすく示している [0401b]。 |
| 留意点 | |
| *各項に留意点レベルを記入 | |
| | 【A】・・・緊急の改善を要する事項 |
| | 【B】・・・検討を要する事項 |
| 特になし | |

| 根拠資料 No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|------|---------------|
| 基準 4 | 教育課程・学習成果 (2) |
|------|---------------|

| | |
|---------------|---|
| 総評 | |
| 0404 | 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うため、将来の職業に直結した演習 (小・中学校等における授業を想定した模擬授業、幼稚園・保育所等での活動を想定した模擬保育)や、グループ・ワークの手法を取り入れた授業が実施されている[0404b]。さらに授業内容にあった受講生数管理が行われている[0404c]。 |
| 0405 | 成績評価、単位認定および学位授与を適切に行うため、シラバスおよび学生便覧に評価基準、卒業要件が明示されている[0405a][0405b]。さらに学士学位審査の客観性および厳格性を確保するため、卒業論文査読者向けの評価基準だけでなく、様式や提出 手順などを学生・教員に明示している。卒業研究の内容の多様化に対応するため、分野ごとに要項や審査基準が策定され開示されている[0405c]。 |
| 長所・特色 | |
| 0405 | 卒業研究の内容の多様化に対応するため、分野ごとに要項や審査基準が策定され開示されている[0405c]。 |
| 留意点 | |
| *各項に留意点レベルを記入 | |
| | 【A】・・・緊急の改善を要する事項 |
| | 【B】・・・検討を要する事項 |
| 特になし | |

| 根拠資料 No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|------|---------------|
| 基準 4 | 教育課程・学習成果 (3) |
|------|---------------|

| | |
|----------------|---|
| 総評 | |
| 0406 | 学生の学習成果として、学修ポートフォリオの情報から個票を作成、面談記録、プレイメントテストの結果等を合わせて指導教授が保管し、課題のある学生は指導教授が対応にあたっている。また、課題がある授業については学部教務委員会に報告して改善をはかっており、学部学科の特徴でもあるとして評価できる。 |
| 0406 | さらに、学部内に職能別同窓会を組織して、卒業生から学部授業に対する意見を求める形をとっている。しかし、まだ年数も浅いことから、地域性による違いや大学が持っている卒業生の個人情報を、同窓会を組織化する目的でどこまで利用可能なか利用する場合の手続き、ルール作りなどの課題が挙げられていることがピアリングにおいて説明された。 |
| 0407 | 教育課程の点検は、文部科学省からの指導や示唆をもとにしてシラバスの点検の際に合わせて対応しており、第三者評価 (文部科学省による実施視察等) に対応する継続的な教育の自己点検・評価の機会となっている。 ・以上、独自の学生の学習成果に関する情報の共有方法、改善のシステム、教育課程の評価システムを学部学科独自に工夫されている。今後、昨年度から導入した「学びに関する調査(学生アンケート)」や「GPS -Academic (アセスメントテスト)」の結果も加えて、DP の達成度についての評価を期待するものである。 |
| 長所・特色 | |
| 0406 | 学生の学習成果を、学修ポートフォリオの情報から個票を作成し、面談記録、プレイメントテストの結果等を合わせて使用している点は学部学科独自に工夫されており、長所として評価できる[0406a]。 |
| 留意点 | |
| * 各項に留意点レベルを記入 | |
| | 【A】・・・緊急の改善を要する事項 |
| | 【B】・・・検討を要する事項 |
| 0406 | 本学のアセスメント・ポリシーにあるように、昨年度から導入された「学びに関する調査(学生アンケート)」や「GPS -Academic (アセスメントテスト)」も含めた DP 達成度の検討の充実が望まれる。【B】 |

| 根拠資料 No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|------|---------|
| 基準 5 | 学生の受け入れ |
|------|---------|

| | |
|---------------|---|
| 総評 | |
| 0501 | 資格系学部であることから、入学生受け入れ方針、教育課程、卒業認定・学位授与方針等は、それぞれの学科の資格に対応させ、一貫性をもって定めている。ホームページ・大学案内・入試関連資料には、それぞれの媒体に応じて上記の方針を記載している[0501a][0501b]。入学生に求める学力水準等は、学科および専攻の特性により異なるので、各担当者がオープンキャンパス等の折に個別に相談機会を設けて入学希望者等に対して説明している [0501c]。 |
| 0502・0504 | 入試システムに関しては、学部が関与できる領域が小さく、全学的な公正性・公平性を担保するためなどの理由で大学入学センターが担当している。学部は、学部入学者選抜委員会で個別の入試案件について部分的に関与している [0502・0504a]。学生募集に関しては、学部広報委員会を設置し、学部の教育課程等に関する情報をパンフレットやホームページを利用するなどして発信し、大学受験を考える高校生等が大学や学部・学科を選択するために必要な情報を提供している[0501a][0502・0504b]。入学者選抜に関しては、学生受入方針に沿った多様な選抜をポートフォリオ入試などで実施している [0502・0504c] [0502d]。その一方で、入学者受け入れ方針 (AP) と入試形態・選抜方法との整合性について改善すべき点があると自己評価しており、具体的な検討を進める必要がある。 |
| 0503 | 募集定員に見合う入学者数を確保できており、入学・収容定員に対する在籍者数は適切である。3 年次編入学生は、科目の読み替えが困難であるなどの理由で少ない[0503a][0503b]。 |
| 0504 | 現代教育学部広報誌「EDUCATUS」を発行することにより、スマホ利用、障害者教育、感染症等の現代教育の課題、研究成果も含めて、受験生を含む広い層に向けて学部の活動を発信し、魅力を伝えている[0504a]。 |
| 長所・特色 | |
| 0504 | 現代教育学部広報誌「EDUCATUS」を発行することにより、スマホ利用、障害者教育、感染症等の現代教育の課題、研究成果も含めて、受験生を含む広い層に向けて学部の活動を発信し、魅力を伝えている点は、明確な特色となっている [0504a]。 |
| 留意点 | |
| *各項に留意点レベルを記入 | |
| | 【A】・・・緊急の改善を要する事項 |
| | 【B】・・・検討を要する事項 |
| 0502 | 入学者受け入れ方針 (AP) と入試形態・選抜方法との整合性について改善すべき点があると自己評価しており、具体的な検討を進める必要がある。【B】 |

| 根拠資料 No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|-------------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0502 | d | 学部入試選抜委員会開催案内メール (2021 年度開催分) | ○ |
| | | | |
| | | | |

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|------|---------|
| 基準 6 | 教員・教員組織 |
|------|---------|

| | |
|----------------|--|
| 総評 | |
| 0602 | 専任教員数が法定定員には達するが、指導の多様性の観点からは明らかに不足し、教育理念・目的を実現するための教員組織は一定範囲内でしか編成できていないと述べられているが、これを改善するための働きかけは行われていない[0602a][0602b]。 |
| 0604 | 「中部大学現代教育学部 FD&SD 委員会規程」に従い、教育・研究内容及び教育方法の改善・向上を目的とする活動が、重点目標を設けて実施されている[0604a][0604b]。 |
| 0605 | 全体が俯瞰できる学部教員の組織表を作成し、各委員会での企画・推進に反映させている[0605a][0605b]。また大学を取り巻く社会環境の変化等に迅速に対応できる柔軟な組織運営を行うために、学部人事 WG で職員組織および規程の見直しが行われている[0605c]。 |
| 長所・特色 | |
| 0605 | 大学を取り巻く社会環境の変化等に迅速に対応できる柔軟な組織運営を行うために、学部人事 WG で職員組織および規程の見直しが行われている (なお、個人情報保護の観点から議事録等は作成されていない) [0605c]。 |
| 留意点 | |
| *各項目に留意点レベルを記入 | |
| | 【A】・・・緊急の改善を要する事項 |
| | 【B】・・・検討を要する事項 |
| 0602 | 専任教員数が法定定員には達するが、明らかに不足し、教育理念・目的を実現するための教員組織は一定範囲内でしか編成できていないというのであれば、具体的な改善のための行動を検討する必要がある。【B】 |

| 根拠資料 No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|------|---------|
| 基準 8 | 教育研究等環境 |
|------|---------|

| | |
|--|---|
| 総評 | |
| 0802 | <p>学生数、教育方法、施設設備の充実に関して文部科学省による実地視察など厳格な外部審査を定期的を受けており、それらの審査に適合したことから充実度が担保されている[0802a][0802b]。さらに審査で受けた指摘(たとえば地域連携の強化、教育関係図書充実など)は、春日井市教育委員会と連携して「地域教育活動連絡協議会」を立ち上げて定期開催したり、学習指導要領の改訂にあわせた教科書指導書の選書・購入を進めたりするなど、着実に対応している[0802e][0802f]。</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染防止のため、遠隔授業や換気に対応するための講義室の環境整備も行われているだけでなく、実習関連授業では毎回検温・手指消毒を行わせ、さらに「健康観察票」「行動記録票」への記録を学生に義務づけるなど徹底している[0802c][0802d][0802g]。 <p>0806 教育研究等環境の適切性については、「学部等重点事業計画」作成時に学科、主任者会、教授会で点検・評価ならびに改善について検討されている[0806a]。</p> |
| 長所・特色 | |
| 0802 | <p>施設整備に関して監督官庁等による厳格な外部審査を定期的受審している[0802a][0802b]。</p> <p>0802 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から講義室の環境整備が行われているだけでなく実習関連授業では「健康観察票」「行動記録票」の記録を学生に義務づけるなど徹底している[0802c][0802d][0802g]。</p> |
| 留意点 | |
| <p>* 各項に留意点レベルを記入</p> <p style="text-align: right;">【A】・・・緊急の改善を要する事項 【B】・・・検討を要する事項</p> | |
| 特になし | |

| 根拠資料 No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|---|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0802 | e | 現代教育学部 追加資料 3 : 地域教育活動連絡協議会 次第 (2022. 2. 21 開催) | ○ |
| 0802 | f | 現代教育学部 追加資料 4 : 教科書指導書購入リスト | ○ |
| 0802 | g | 現代教育学部 追加資料 5 : 健康観察票・行動記録票 | ○ |
| | | | |

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|------|-----------|
| 基準 9 | 社会連携・社会貢献 |
|------|-----------|

| | |
|---------------|---|
| 総評 | |
| 0902 | <ul style="list-style-type: none"> 学部と春日井市において「地域教育活動連絡協議会規約」を結んで毎年、5 から 6 つの社会連携、社会貢献活動を継続している。2020 年度、2021 年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で実施できなかったが、規約を取り交わしていることや学部海外研修においても再開のための準備を進めており、継続性の確認ができる [0902a] [0902b] [0902c] [0902d]。 春日井市教育委員会と結んだ「地域教育活動連絡協議会規約」にもとづき「学校ボランティア」(秋学期 2 週間に 1 回) (2021 年度 参加学生 56 名)、「土曜チャレンジアップ教室」(参加のべ学生数 153 名、参加指導教員 8 名) を実施しているとの追加説明を受け、コロナ禍での活動に注意して活動を継続していることが確認された。 以上のことから、学部として春日井市との地域連携の規約を結ぶなど、システムの構築が出来上がっており、社会連携体制として長所として評価できる。また、毎年 3 月に社会連携・社会貢献活動の報告会を開催し、1 年間の振り返りと次年度への課題等を教員間で実施しており評価できる [0902e]。今後の改善向上に挙げているように、with コロナ時代における本社会貢献活動の進め方についても期待される。 |
| 長所・特色 | |
| 0902 | 学部と春日井市において「地域教育活動連絡協議会規約」を結んで毎年、5 から 6 つの社会連携、社会貢献活動を継続しており、社会連携体制として長所として評価できる。 [0902a] [0902b] [0902c] [0902d] [0902e]。 |
| 留意点 | |
| *各項に留意点レベルを記入 | 【A】 ・・・緊急の改善を要する事項 【B】 ・・・検討を要する事項 |
| 特になし | |

| 根拠資料 No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|---|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| 0902 | e | 現代教育学部 追加資料 6 : 2021 年度中部大学現代教育学研究所研究発表会プログラム | ○ |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第 2 部会)

2022 年度 (対象 : 2019-2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|-------|-----------|
| 基準 11 | 大学独自の評価項目 |
|-------|-----------|

| | |
|----------------|---|
| 総評 | |
| 1120 | 学部教授会等の主要な会議に関しては、議事録を作成している [1120a]。また、個々の委員会の活動に関しては、活動計画、活動報告書を作成し、報告書をもとにした活動報告を教授会で実施することで、組織運営の面で適切に行われている [1120c] [1120d]。 |
| 1120 | 組織全般については、年度単位での見直しを実施されており [1120b]、堅実な学部の管理運営ができています。 |
| 1120 | <ul style="list-style-type: none"> 書類作成等の手続きの増加により業務の多忙化が進んでおり、さらに、SDGs推進を大学の大きな方針としていることから、報告書作成に伴う紙の使用増加が自然環境に与える負荷ということを考慮した業務全般の簡素化やDX活用が具体化していない [1120c] [1120d] が、情報管理の方針、情報の伝達手段については検討を開始している。 以上、年度単位の組織の見直しや個々の委員会活動を教授会に報告するなど、十分に持続的に業務内容の点検が実施されていると判断できる。 |
| 長所・特色 | |
| 1120 | 組織全般については、年度単位での見直しを実施している [1120b]。 |
| 1120 | 個々の委員会の活動に関しては、年度初めに活動計画を作成・検討し、年度末には活動報告書を作成し、報告書をもとにした活動報告を教授会で実施している [1120c] [1120d]。 |
| 留意点 | |
| * 各項に留意点レベルを記入 | |
| | 【A】・・・緊急の改善を要する事項 |
| | 【B】・・・検討を要する事項 |
| 特になし | |

| 根拠資料 No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管

ピアレビュー委員会 (第2部会)

2022 年度 (対象 : 2019~2021 年度) ピアレビュー報告書 (案)

| | |
|--------|--------|
| 評価対象組織 | 現代教育学部 |
|--------|--------|

| | |
|------|--------|
| 基準 特 | 学長重点項目 |
|------|--------|

| | |
|--|--|
| 総評 | |
| <p>特 03 ・入学時に独自のプレイスメントテスト (現代教育専攻 : 国社数理英 ; 中等教育国語数学専攻 : 国語または数学) を実施して基礎学力を把握し、春学期に指導教授から伝え学修に活用するよう指導している [特 03a]。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入試方式と入学後の成績 (GPA など) との相関性について追跡調査をし、必要があれば指定校推薦の成績基準の見直しを行っている [特 03b]。 ・現代教育学科では、一定基準以上の GPA 数値を教育実習参加要件の一つとしており、前学期の学修状況を振り返り、次学期の学修に向かう、という流れでの指導を実施している [特 03c]。 ・幼児教育学科では教育目的と学修動向に合わせた初年次教育方法、とくにスタートアップセミナーを改善し、保育所見学や新聞読解などを通し、意識と基礎学力の向上を図り、主体的に 4 年間の学修目標を作成し取り組むように指導している [特 03 d]。 ・保育・教育実習参加要件や保育士資格・幼稚園教諭免許のチェックリストを導入することで、個々の学修成果を可視化して指導し、振り返りと次学期の学修意欲の向上につなげている [特 03e]。 | |
| 長所・特色 | |
| <p>特 03 入学時に独自のプレイスメントテスト (現代教育専攻 : 国社数理英 ; 中等教育国語数学専攻 : 国語または数学) を実施して基礎学力を把握し、春学期の個人面談で、指導教授から学生に伝え、学修に活用するよう指導しており [特 03a]、退学率を抑制するなどの効果が出ている。</p> <p>特 03 保育・教育実習参加要件や保育士資格・幼稚園教諭免許のチェックリストを導入することで、個々の学修成果を可視化して指導し、振り返りと次学期の学修意欲の向上につなげている [特 03e]。</p> | |
| 留意点 | |
| <p>*各項に留意点レベルを記入</p> <p>【A】・・・緊急の改善を要する事項</p> <p>【B】・・・検討を要する事項</p> | |
| 特になし | |

| 根拠資料 No. | | ピアレビュー受審時に追加された根拠資料の名称 | 提出区分 |
|----------|----|------------------------|------|
| 項目 No. | 記号 | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

提出区分 … ○ : 本シートと一緒に提出する資料 △ : 現部署で保管